

重要文化財

青磁碗・皿

〔島根県出雲萩村古墓出土品〕

当館蔵

碗：口径13.4～13.8cm、 皿：口径17.1cm

中国・南宋(13世紀)

古い時代のお墓、とりわけ身分の高い人のお墓には、その時代のお宝が副葬されていることが多い。現代においても文字通りの「宝庫」であるが、こと焼物に関しては、完全な形を留める優品の大半はお墓を出所としていてと考えてよい。本品はまさにそうした優品の一例である。



昭和40年(1965)、出雲平野を流れる斐伊川左岸が開墾された際に、小さな微高地が掘削された。地表には宝篋印塔の残がいが散り、地下には常滑の大甕が埋設されていたことから、そこは鎌倉時代のお墓であったことは間違いない。甕の中から発見されたのは、若干の骨とこの青磁の碗・皿3口だけだったので、墓の主はさぞかしこの器に愛着をもっていたと思われる。

碗は、外面に25葉の鎧蓮弁を表した端正な作りで、爽やかな翡翠色の青磁釉がむらなくかかる。高台の地付部分のみ、釉を掻き取り露胎としている。この肌の赤褐色が、夢心地に広がる翡翠色の緑をきりと引き締めている。中国・南宋時代の龍泉窯の産とみて間違いなく、日本国内の伝存品でも屈指の名品である。色も形も素晴らしく、手にとって鑑賞してもらえないのが惜しい。皿は碗と同質だが、鎧は内面に設けられており、見込みに草花文の陰刻がなされている。

鎌倉時代の出雲でこれだけの逸品を所有できた人は、いったい誰であろうか。そして入手ルートは？ 具体的な名前は私たちにも挙げられない。しかし、愛蔵品の質の高さをみるかぎり、舶来品に「目がない」人、しっかりした審美的「眼がある」人、であったのは間違いない。

吉澤 悟(当館学芸部情報サービス室長)

◆西新館 名品展「珠玉の仏教美術」にて4月7日から7月16日まで展示

名品展の みどころ

刺繍釈迦阿弥陀二尊像

当館蔵

刺繍

縦127.0cm 横52.0cm

鎌倉時代(13～14世紀)



刺繍で仏の像を表す繡仏は、一般にはなじみの少ない作品であろう。しかし、古代のわが国ではさきわめてポピュラーな造像表現の一つであり、平城京の薬師寺講堂に懸けられた刺繍阿弥陀浄土図のように大寺院の主要堂宇の本尊とされる例もあった。しかし、平安時代になると繡仏の製作は急激に少なくなり、私の知る限り平安時代の繡仏作品は伝わっていない。再び繡仏が製作されるようになるのは鎌倉時代以降であり、阿弥陀信仰に関わる作品を中心に作例を見ることができる。この時代、当麻曼荼羅を織ったとされる中将姫に対する信仰が盛んとなり、一針一針刺繍をする作善が中将姫を想起させ、繡仏の復活を見たのではないかと思われる。

この作品は全面を刺繍で表した作品で、中世の繡仏としては大作に属する。画面は上中下の三段に分けられ、上段は飛天や樂器、及び『法華経』と『大無量寿経』の偈、中段は釈迦如来と阿弥陀如来の立像、下段は迦陵頻伽が遊ぶ蓮池を表している。釈迦・阿弥陀像は蓮華座に立ち、宝相華文を透彫した豪華な光背を負い、頭上には天蓋を掲げている。仏前には華瓶一對と前机に載る獅子形香炉が見られる。このような表現から実際の仏像を写したのではないかと推定される。刺繍糸は絹糸を主とし、仏像の頭髪や袈裟の一部と偈に人の頭髪を用いている。刺し繡、留め繡、こま繡、まつい繡などの刺繍技法が用いられており、刺繍表現は精緻である。

釈迦と阿弥陀の二尊は、この世から往生者を浄土に送る釈迦と、浄土で往生者を迎える阿弥陀を表したものである。阿弥陀浄土への往生を祈願した人物が日々礼拝した本尊であったと思われる。

内藤 栄(当館学芸部長補佐)

◆西新館 名品展「珠玉の仏教美術」にて4月7日から5月13日まで展示

開館日時(4月～6月)

〔開館時間〕

午前9時30分～午後5時

〔開館時間延長日〕

午後7時まで

4月27日(金)・28日(土)

5月4日(金・祝)・5日(土・祝)・11日(金)・12日(土)

18日(金)・19日(土)・25日(金)・26日(土)

6月1日(金)・8日(金)・15日(金)・22日(金)・29日(金)

※いずれも入館は、閉館の30分前まで

〔休館日〕

毎週月曜日(休日の場合はその翌日、連休の場合は終了後の翌日)

〔臨時開館日〕

4月30日(月)、5月1日(火)

観覧料金

名品展・特別陳列

	一般	大学生	高校生以下
個人	500円	250円	無料
団体	400円	200円	無料

※団体は20名以上です。※満70歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。
※5月5日(土)こどもの日、5月18日(金)国際博物館の日は、名品展が無料でご覧いただけます。

特別展 解説上人 貞慶

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人(当日)	1,200円	800円	500円
団体	1,100円	700円	400円

※団体は20名以上です。※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料です。



〔交通案内〕近鉄奈良駅下車徒歩約15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅から奈良交通「市内循環」バス「氷室神社・国立博物館」下車

※当館には駐車スペースがございませんので最寄りの県営駐車場等(有料)をご利用ください。

